

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

1 開催概要

日 時 令和7年12月9日（火）18:30～20:20

場 所 浜田市立中央図書館 多目的ホール

出席者 別紙名簿のとおり

2 議事次第

(1) 会長挨拶

(2) 協議事項

「石見神楽保存・伝承拠点基本構想（案）」について

3 議事録

(1) 会長挨拶

豊田会長より挨拶。内容は以下のとおり。

豊田会長	<p>11月18日に開催いたしました第6回の検討委員会で、基本構想案についてのご意見をいただき、今回修正をして、資料として配布がされております。</p> <p>スケジュールの中でお話しておりますけれども、今日皆様のご承認をいただきますと、今回の会議をもって最終会とさせていただく予定となっております。ただ、大きな修正を行う必要がある場合は改めて第8回の検討委員会を来月あたりに開催をさせていただきたいと思います。</p> <p>ですので、今日が最後の会になる可能性があるということを踏まえまして、全体をとおしてご意見等をいただけたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
------	---

(2) 協議事項【資料1】

「石見神楽保存・伝承拠点基本構想（案）」について

事務局より資料に基づき説明。

豊田会長	委員の皆さんからご意見をいただく前に、本日ご欠席の浅沼委員から事前にご意見をいただいておりますので、事務局から紹介させていただきます。
事務局	<p>本日ご欠席の浅沼委員から、事前にご意見・感想をいただいておりますので、ご紹介させていただきます。</p> <p>まず、1点目は、「資料1ページの（1）本基本構想の位置づけについて」です。本文が4つの段落で構成されていますが、「各段落の表現が連関しておらず、肝心の位置づけが理解できないので、文章を再考してほしい。もっと単純化して端的に記述してほしい。」とのこと。これについては、下の図にある上位計画や関連計画等との位置づけを述べたものですが、ご</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

	<p>指摘のように文章として分かりにくい部分がありますので、事務局で端的に分かりやすいように整理し直したいと考えています。</p> <p>次に、「資料の20ページから26ページで述べてあります、③展示機能の活用について」のご意見です。「展示コンセプトにページ数が費やされており、しかも具体的に示されているため、展示中心の拠点という印象が強い。また、構想段階で、踏み込んだ内容が記述されていることに、個人的に違和感を感じている」とのことです。「拠点は、継承者の育成が根幹の使命だと思いますので、展示も大事ですが、最も大切な活動（事業）となる教育・普及、交流、収集・保存、調査研究が強調されるような記述にしていきたいと感じています。」ということで、具体的には、現在、20ページから26ページにかけて、7ページにわたって記載してあります「③展示機能の活用」の部分について、基本的な内容は変えずに3ページ程度に整理し直した方が良いと思う。」とのことです。これについては、ご指摘のように、現在、展示機能に関する記述が、他の機能と比較してページ数が多いことから、多用しているイラストを整理するとともに、踏み込んだ内容となっている【具体例】を割愛して、3ページにまとめるように修正したらどうかと考えています。</p> <p>3点目は、「巻末に委員名簿と、初回から最終回の会議の経過を簡単にまとめた資料が必要だと思います。」とのことです。これについては、昨年度の提言書を取りまとめた際に作成された「参考資料」と同様に、本編に盛込まない検討に関する参考資料編を別途作成する予定ですので、この中に、委員名簿と検討委員会の会議の経過をまとめた資料を掲載したいと考えています。</p> <p>以上、3点についてのご意見とその対応について、ご説明をさせていただきました。よろしくお願いします。</p>
豊田会長	<p>まず、1点目の構想の位置付けの文言の修正について、簡潔な表現に修正するということによろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
豊田会長	<p>3点目の委員名簿や経緯につきましては、掲載する予定ということです。2点目の、20ページから26ページの展示の機能の活用について、ボリュームが他と比べて大きいということで、内容を変えずということだと具体例やイラストを削るという対応になるかと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
福浜副会長	<p>ボリュームが大きく、具体的すぎるということですか。</p>
事務局	<p>先ほどご説明させていただいた通り、浅沼委員からは、文言を変えてというよりは、少しボリュームが他と比べて大きく、ページ数が多くなって</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

豊田会長	<p>おりますので、イラストを削ったり、具体例を削ったりということで、他とのバランスを考えてコンパクトにしたかどうかという指摘をされておりますので、そういった対応でいかがかと考えています</p> <p>具体例等を割愛して、ページ数を抑える形で修正をお願いしたいというご意見ですが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし
豊田会長	<p>それでは、その他、委員からご意見、ご質問等ございませんでしょうか。なお、構成案の修正が必要となる件につきましては何ページのどの部分をどのように修正するというように、ご提案いただけたらと思います。</p>
柿田委員	<p>13 ページのところ、伝承拠点のあり方について、この伝承館を建てるにあたって、郷土資料館との合築や複合施設にはしないということは、前回、前々回で意見して、確認させてもらいましたが、それが記載されていません。まず最初に、この伝承館というのは、単独でなおかつ、神楽に特化したものというようなことは書いていただかないと、12月5日の山陰中央新報にも掲載がありましたが、市長はこの検討委員会から出てきた意見で、郷土資料館の建て直しも考えるというようなことがありましたので、そこはぜひ、ここに記載していただきたいですけどいかがでしょうか。昨年の専門委員会から提言書を提出しましたが、その提言書に挙げた意見は、残念ながらまるで反映していただけて違う案が出てきたのが現実です。ですので、この度はしっかり書いて欲しいと思います。また、前回、前々回の検討委員会で、意見させていただいた際は、他の委員の皆さんも、それはそうだというふうに言っておられたと思います。</p>
事務局	<p>これまで柿田委員からご質問をいただいて、この検討委員会では郷土資料館と複合にする云々の議論はしていただく必要はなくて、拠点として一体どういうものを整備するかということに集中してお話をさせていただきたいというお話をさせていただきました。</p>
柿田委員	<p>私は前回、前々回で、なぜそういう質問をしたかといういきさつは、お伝えしました。そういう経緯がありましたので、改めてこの構想案の中に記載しておくべきと思っています。</p>
事務局	<p>これは検討委員会としての意見をまとめるものですから、それに対して事務局がこうして欲しいとかそういうものではありませんので、その中で、まとめられたものを参考にさせていただくということで、議論をしっかりしていただきたいと思います。</p>
柿田委員	<p>新聞にも出たことですので、この検討委員会の意見は意見として、通る、通らないは別として、単独で建てるべきということは意見として出しておかなければならないと思います。</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

豊田会長	石見神楽に特化した施設というところは皆さんも同意かと思っております。ただ、この検討委員会では特化した拠点のあり方はこういうものであるというところの意見を、まとめてきておりますので、複合施設にするかどうかというのは、また別の話なのかなと思っております。結果的に拠点施設はこうであるべきだということを出して、実際にこのあり方というところは、施設の構想案ができた後で、浜田市が考えることと思っております。
柿田委員	建物自体も理想論で、こんなものがあつたら良いというような議論をしてきていますので、理想としては単独で立てて欲しいというようなことを盛り込むのはよいのではないのでしょうか。
小川委員	検討委員の意見とすれば、そういうふうにも書いても問題はないと思います。
豊田会長	そういう意見が多いようでしたら、単独の施設での拠点を希望するというようなことでしょうか。
柿田委員	私は以前、市議会議員の方から言われたことがあって、そういうことがなければこういう話もしなかったかもしれませんが、そういった経緯があったので、あえて言わせていただきました。
豊田会長	他の委員の皆様、いかがでしょうか。
小川委員	少し個人の意見を織りまぜながら、さきほどのことと関連することもありますので、意見をさせていただきます。この提言書は、非常に盛りだくさんで、前回も言いましたが、これだけをしようとしただけで他のものが混ぜられないほどすごく盛りだくさんな内容となっています。これがどこまで反映され、実現するかということは分かりませんが、かなりのものになっていると思います。内容については、個々に色々あると思いますが、今後、建設、整備するに当たりまたその時々で変わってくる面もあると思います。私は、この個々の内容について、言うつもりはありません。私の気持ちの総括ですけれども、これまで6回に亘って行われた検討委員会を通して、私の思いを汲んでいただいて、意見を反映していただき非常に理想的な構想案ができたと思っています。最後に2点、強調してお伝えしておきたいことがあります。まず、この構想案の提出がゴールではあってはならないということを一番強く思っています。石見神楽の定期公演場の創設は、思い起こしますと、かれこれ半世紀以上、私の諸先輩方が求めてこられたことでもあります。ご存じのように、今から30年以上前に、安芸高田市に神楽門前湯治村ができました。当時私は20代でしたが、こういうものは浜田市に作ってもらわなければいけなかったのではないかとこのことを、資料を作って、協議会代表者の大先輩の前で切々と思いを伝えたこと

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

豊田会長	<p>がすごく如実に記憶によみがえったところです。また、諸先輩方も半世紀以上に亘り歴代市長をはじめ、市当局に幾度となく要望を行ってきた事柄であります。今や少し遅いというふうに個人的には感じているところもありますが、合併前の各市町村単位で、舞やアイデンティティは、非常に大切なものでありそれを大事にしなければならないことも重々分かっていますし、それをないがしろにするものでもありませんが、今一步踏み出して、浜田市全体のこととして、浜田のこれまで培ってきた、浜田の石見神楽文化を次世代につなげるため、整備に関しては賛否あると思いますけれども、こういった保存継承に関わる提言に始まり、この度の提言に至るまで2年間にわたる検討を重ねており、それなりの拠出もなされているのも事実です。こういった事柄を踏まえ、検討内容を尊重いただき、ぜひ新市長におかれましては、拠点施設整備を実行に移していただきたいと切に願います。</p> <p>もう1点は、少し話がそれるかもしれませんが、先日、神楽をユネスコ無形文化遺産へ提案という報道がされており、にわかに追い風のように感じておりますが、これはあくまでも、国の重要無形文化財しか指定されないということですので、我々浜田の石見神楽はそもそも市の指定にすらなっておらず、蚊帳の外であるということは、皆さんご承知おきされておいた方が良くと思います。全国では4,000の神楽があると言われてはいますが、そのうちの100分の1にも満たない団体が、ユネスコ無形文化遺産の対象となるということが事実です。これは、石見神楽が国の指定になれば良いというそういう問題ではなくて、市としてこれが大事なのか、市としてどういう文化なのか、どういうふうに取り扱っていかなければならないのかということを、今一度、確認をすべきでないかと思います。私たちは、浜田市、島根県、ひいては日本を代表する民俗芸能として、日本全国だけではなく、世界各国で公演活動をして、観光振興及び文化振興に寄与してきました。しかしながら私たちの伝統文化は、市の文化財の指定すら受けておりません。また、この浜田に創始された、石見神楽継承地域に漏れなく伝播している石見神楽を象徴するものづくりの技術の多くが未指定のままです。こういった事実を、委員の皆さん、またご列席の行政関係者の皆さん、市民の皆さんにご理解いただきたいと切に感じております。今一度、なぜ浜田市が石見神楽を創り出したまちといえるのかをよく考え、他市町との違いをどのような取組を真摯に考え、早期に実現してもらいたいと考えております。</p> <p>この提案書を市長にお渡しして説明をする機会があると思いますが、そこでお話ができたらと思っております。内容につきまして、修正はよろしいでしょうか。</p>
------	---

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

小川委員	<p>内容が盛沢山すぎて、今後本当に実現に向けて精査していく段階において、できることとできないことが出てくると思います。構想案の内容とすれば、非常に盛沢山の、これが本当にできるとなれば良いと思いますし、これをやろうとすれば、柿田委員が言われたように、他のものと混ぜるということになる、市民の方も迷われるし、そこが薄まるというのは個人的には嫌だなと思います。</p>
仲野委員	<p>構想策定の趣旨ですけれども、体系図だけで十分理解できると思います。浅沼委員の意見でもありましたように、上の文章も分かりにくいところがあるので、そこは整理するべきだと思います。また、2ページ以降の内容は、実際に、その計画を見れば掲載されていますので、そこまで詳しく書く必要はないと思います。そういう意味では、7ページまでは、もっと簡潔にした方が良いでしょう。ここで挫折しそうな感じもしますので、先ほど言いましたように体系図だけで十分多分この構想の位置付けは理解できると思います。或いは、総合振興計画のこの部分をということであれば、注書きにしたり、後ろのところで補足の説明を行えばいいのかなと思います。また、柿田委員がおっしゃられた件で、そういう議論があるのかということのを改めて考えさせられました。といいますのは、私もこれは独立した施設という前提で考えていたということも正直ありますので、今おっしゃられたように、複合施設ということも検討の中にあるということを知ってびっくりしました。逆に言えば、なぜこれが独立した施設であるべきなのかということ、ここできちんと議論しといた方が良いでしょう。独立したことによって、この構想案がより具体的になって、ミッションをきちんと果たせるというようなことを、しっかり議論した上で、その議論を踏まえてここに盛り込むことが必要だと思います。その辺の議論ができればよいと思います。</p>
豊田会長	<p>独立した施設であるべきだという議論について、ご意見をまた伺いたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
福浜副会長	<p>構想案を市に提出しますが、やはり市民の方々にご理解いただく場というところが一番だと思います。この検討委員会の最初に、わくわくする計画を作りたいという意見があったと思います。そこが、何となく足りないと思っていまして、一番、委員の方々が熱くなったのは、舞殿のどこだだと思います。委員と浜田市民の皆さんの考えとすれば、やっぱり宮神楽が一番であるけれども、それぞれのお宮はコミュニティーがあつて、そこに観光客などの域外の方が参加することができない状況にあるということを考えますと、もうコンセプトのここになると思いますが、「みんなのお宮」とか、「浜田のお宮」というような、そういう位置付けがないといけないの</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

	<p>ではないかと思っています。また、三宮神社で夜神楽をされていますが、これも一応ご厚意でお借りしているもので、いつまでこれが続けられるかわからないということもありますし、なおかつ、万博以降で、観光協会に伺ってみると、動員も非常に増えているということですので、その辺のデータもしっかりつけて、まだまだ石見神楽のことを知らない国内、国外の方に知っていただきたいと思います。もう少し舞殿のコンセプトのところは厚くしないと、市民の方々に理解いただけないのではないかと思います。</p>
豊田会長	<p>わくわくするような計画をということで、舞殿のコンセプトについて、「浜田のお宮」というようなところも入れてほしいということです。</p>
福浜副会長	<p>そこは皆さんの議論ですが、議論の中でそんなお話があるのではないかと思います。</p>
豊田会長	<p>確かに私も神楽の動員数が増えているということは聞いておりますので、もし、具体的な数字があって、今盛り上がっていることがわかるので、あれば数値を入れてもらえたらいいのかなと思います。</p>
藤原委員	<p>全体を通して、文章が少しこなれてないところがあると思っています。これを出される前に市と何度も読み合わせをして、行政から出す文書として、責任を持って出していただけるような、細かな表現、言い回しを確認し、また、言葉が足りないとかいうことがないように、お願いしたいと思います。例えば、18 ページで「市内に存在する保存すべき用具や資料」となっていますが、文化財的な歴史資料で保存すべき必要ないものはないので、そういう意味ではこの「保存すべき」という言葉はなくても良いです。そういったところが何点か点々と気になったので、読み合わせを本当に何度もお願いしたいなと思います。それと言葉の使い方ですけども、「価値」という言葉が全編にわたって出てきますが、通してみても一番多かったのが、「文化的な価値」という使い方、あとは「歴史的技術的価値」ということで、何か文脈によって、使われ方が違うように書かれていますので、文化財関係の類例で、どういう使われ方をしているのかと思って、浜田市が策定した地域計画、それから島根県で策定した文化財保存活用大綱を見てみましたが、大体「価値」という言葉はそれだけで使っていて、「文化的な」とか、言い回しはしていませんでした。この「文化的」や「歴史的」「美術的」という言葉がどう違うのかということは、多分なかなか説明しにくいので、ひっくるめて「価値」とすれば良いと思います。ただ、19 ページに関して言うと文化財指定などの視野に入れたっていうことであれば、「文化財的価値」でも良いかもしれませんが、それも、あってもなくてもいいと思います。また、学芸員の立場として意見させてもらおうと、31 ページの調査研究ゾーンの「そのため居室（事務室）としての居住性を確保するとと</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

	<p>もに、研究素材の保護にも留意する環境」とありますが、具体的にどうい うことを想定されているのか分かりません。事務室に何か特別な環境整え るということかもしれませんが、私のいる博物館はそういうことはなくて、 収蔵庫に入れる前にはきちんと保存処理もしますが、何か具体的な例があ れば教えていただきたいと思います。それと、「研究対象となる収蔵ゾーン や展示ゾーンと一体的な利用」とあるが、具体的に一体的な利用というの は何を指すのか、少しぼんやりしていると思います。一体的な利用という のは近くにあるということなのか。そういったところも、市民の方が見て もわかるような書きぶりにしていただく必要があると思っており、それが なかなかうまく端的にまとめられないのであれば、これは削除しても良い と思います。それと、③常設展示ゾーンに「本基本構想では、原則として 展示のストーリーを重視し、順をおって体験することで、石見神楽の魅力 を知り、理解を深めることを目指しています。」とありますが、これは異論 ありません。その後で、「そのため、観覧の経路を固定した強制動線方式を 想定していることから、1つの資料を長時間観覧することや特定の資料に 人が集まるような展示にならないように配慮する必要があります。」とあり ますが、これ1つの資料を長時間観覧することがないようにすると読めま すが、私は博物館に行って気になった資料があるとそこで、結構長い間見 続けることはよくありますし、もちろん展示をする上で、コンセプトとか ストーリーを明確にしていくのが必要ですけど、それを押し付けるのは違 うと思いますし、やったところで、思ったように見ていただけないとい うか、お客さんの視点からすると、資料館というのは、好きなように見れ ばいいと思います。その中で、今日はこういうことが、新しい発見になった、 次来たときは違う発見があるかもしれないことで、必ずしも強制的に動線 を縛られて、こういうステップで、何か体験をするっていうことは、内 には秘めていても出す必要はないと思っているので、この部分は削除しても 良いと思います。それから④企画展示ゾーンに「企画展示ゾーンは展示機 能を担う一部であり、基本的な企画展示の内容を想定して上で、必要な設 備や什器の整備が必要になります。」とありますが、企画展示をするには設 備や什器が必要になるのは当然なので、これも削除しても良いと思います。 また、その次に「常設展示ゾーンと企画展示は、常設展示ゾーンと連携し て利用できるようにする他、多目的室ゾーンなどと連携して、常設展示ゾ ーンとは区分しての利用も想定されることから、その利用形態に応じて利 用動線を確保できるような配置とすることが望まれます。」とありますが、 この連携して利用できるというのが、どういうことを想定されるのかがよ くわかりませんでした。今の議論では、展示スペースについては、規模感</p>
--	---

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

<p>豊田会長</p> <p>事務局</p> <p>川本委員</p>	<p>について想定するものがないので、それぞれの頭の中で、資料館を想像して組み立てられていると思います。私の思っている展示室のイメージが多分全然違っているせいかもしれませんが、広く市民にこれを見ていただいて、どういう部屋になるかっていうのはわからないと思います。ですので、分かりやすく端的に言い換えられるかっていうのをまず確認していただいて、そうしないとコンセプトも不明瞭になると思います。そういうところを検討していただき、もしくは、この部分は削除しても良いと思います。</p> <p>具体的な修正意見をいただき、ありがとうございます。修正案を作る上で、細やかな確認をお願いします。</p> <p>しっかり中身を読み合わせ、修正をしたいと思います。</p> <p>38 ページの文化財指定について、浜田市の指定文化財が並んでいますが、紙本墨書神楽台本も市の指定になっておりますので、それを入れるべきではないかと思います。また、先ほど浅沼委員の意見に関連しますが、20 ページあたりから展示機能でイラストの入ったページがありますが、これを見られた方がどういうふうなイメージを持てるかということも、考えていただいて、先ほどの事務局からのお話だと、3 ページぐらいに抑えるという話もありましたが、イメージが持てるように整理をしていただければ良いと思います。</p>
<p>豊田会長</p> <p>川本委員</p> <p>堀尾委員</p>	<p>文言の修正と、イメージが分かるようにイラストも適宜使いながらというようなことでしょうか。</p> <p>その通りです。</p> <p>13 ページで、「後継者育成・確保が不可欠」や、「情報や人のつながりが集まり・広がる」としてありますが、それに関係して、32 ページの情報発信ゾーンのところの文面だけ見ると、何か観光客向けの浅い情報発信だけになっていると感じます。この施設で、後継者になる手段とかの情報発信とか、また、もともと神楽関係者の情報発信というか、ハブ拠点が一切入っていないと思っていたので、できればここに入れていただけたら良いと思います。例えば、社中員が少なくて公演ができないところで社中員の貸し借りとかも、それを何かつなげる場所にもなるのではないかと思います。あと、本当に余談ですが、33 ページのエントランスホールにトイレについて書いてありますが、トイレに音姫という機能がありますが、そういった音も例えば音姫社中と題して神楽の音にすると、神楽に特化した施設ならではの感じがします。この意見については、構想案に入れる入れないは別として意見として言わせていただきました。</p>
<p>豊田会長</p>	<p>情報発信ゾーンは確かに観光客向けという部分が、内容としては多いかなというところで本当は神楽の社中同士や、社中と後継者になれる方も</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

小川委員	<p>つなげることができればよいということです。あとは、神楽の音がするトイレですが、確かに神楽の音がする自動販売機がありますが、つい押してみたくなると感じます。構想案に入れる入れないは別として、そういう意見があったということは議事録にも残るかと思います。</p> <p>最初の施設のあり方について、複合、単独というところの意見について、そういう検討はしていませんでしたが、想定では単独の拠点施設というところを考えては来ていましたので、あえてそういう独立したという表現はしていませんけれども、これは単独であったら、機能がより発揮できるのかあれば、そういう表現をしてもいいのかなと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>複合に関しては、諸々予算的なこととか、いろいろ考えがあると思いますが、逆に複合すると何かぼけてしまうという専門家もいて、いろんなものを複合することによって、どっちもがだめになってしまうという意見もよく耳にすることです。特にこの神楽のことに関しては、先ほど意見したとおり、浜田がいかに文化として大事なのか思うというところにも至るところですし、整備に向けた予算を考える上で、これだけのものが多分、全部できるとは思っていません。精査しながら、どの部分が大事でどういうふうにやっていくのかと考えてみても、仲野委員も言われたように、私も特化したものを考えていましたので、複合ということが途中ででてきて、少し戸惑ったところもあります。最初からそういう気持ちで、臨んでいましたので、そういう曖昧なことが起きるのであれば、きちんと文字として入れるべきだと思います。それを受けてどう判断されるかっていうのは、別の問題です。</p>
福浜副会長	<p>先ほど展示の部分の指摘があって、常設展示とか企画展示とか、ここだけ具体的にすぎているというところに少し違和感があるのではないかと思います。展示については、そういう機能を持たせるっていう程度で良いのではないかと思います。少しイメージがつきすぎて、先ほどありましたように多分みんなのイメージがバラバラの中で、ここだけ具体的にしているんで、ここはもう少しあっさりしてしまう方がいいかなと思います。それと、28 ページに市民との連携とあって、ここが一番、大事だと思っています。先ほどお宮のことを言いましたが、神様もいないのにお宮というのは失礼ではないかということも言われかねないですが、お祭りのとき、縁日で屋台が出るということがありますが、そこをいわゆる境内のように、市民の方々が、本当に気軽に、わくわくする気持ちで参加できるような場所づくりをしていかないといけないと思います。この部分は、余りにも市民のボランティアみたいな感じで書いてありますが、もっと市民の方々が</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

事務局	<p>参加しやすいような雰囲気づくりを行っていく取組をしていくということは入れといた方が良くと思います。何か神楽のことだけに特化して、市民参加してくださいというような書きぶりにも感じるので、そうでなくて、ここに来て神楽をまた知ってもらうということでも良いと思いますので、ここだけは神楽に特化せずに、もっと市民の皆さんが気軽に参加していただけるような、場所づくりということも、併せて検討していくという方が良くと思います。</p> <p>色々ご意見をいただき、ありがとうございます。この構想案は、全体的にこれまでの6回の検討委員会で、始めの方はワークショップで皆さんから意見をお聞きした中で、少しずつまとめてきたところです。施設なのか拠点という概念なのかということもありますが、この構想案についても必要な機能のところまでは、ハコモノということではなくて、神楽拠点としてどういう機能が挙げられるのかという整理をしています。機能の活用のところからがどちらかというと、そういったことを行う場の話になっており、展示のイメージ、ストーリーや、最後には施設のゾーニングという構成になっています。その中で、何度も訪れてみたくなるというようなご意見があったときに、いつも同じような施設ではなくて、ところどころ変わる、トピック展示とか、企画展示とか、多目的室というような要素も皆さんの意見を少しずつかいつまんで施設がどんどん増えてきたという部分がありました。そういう観点で、資料は整理をしたところです。もう1つは、確かに展示のところが多くなりすぎたところではありますが、それはなぜかと言うと、この拠点は市民に理解をしてもらうというのが一番という意見があって、わかりやすく市民にどう伝えるかということで、「知る」というところが一番重要というお話がありました。あまり興味のない人に、親しんでもらうため、色々なことを考えたときにゲームだとか、こういったスペースを考えて、今みたいな構成にさせていただいております。先ほど言われた、文章的なところで十分伝わってなかったり、ゾーンのところを施設で詳しく書き加えたところの内容が上手く整理できなかったりしましたので、ご指摘の通り修正を加えていきたいと思います。</p>
小川委員	<p>誤解があるのではないかと思います。複合のことで今、いろいろお話が出ましたが、神楽には賑わいがあり、そういうものを複合として嫌がるものではなくて、はっきり言って新聞で出た、郷土資料館との複合のこのことだと思います。似ているような似ていないようなものを、2つを1にするというところに今、言及しているものであって、神楽関連の展示でも、和紙への想いであつたり、地域が神楽をはぐくんできたりということを全部排除せよという話ではないと思います。そこら辺の誤解があつてはいけ</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

仲野委員	<p>ないと思います。神楽をするためには、神楽文化の継承と、一方ではやっぱり観光振興という部分も、石見神楽を持っている大切な文化だと思っていますので、そこら辺を神楽の拠点の中に組み込んでいくということを否定するものではありません。それは多分、柿田委員も同じだと思います。</p> <p>展示のところは、色々な議論があると思います。要するに、なぜこういう神楽がこの地域で生まれて、発展していったか、いわゆる風土だとか、そういった歴史的な環境というのは、当然盛り込むべきです。そうすると、ここに盛り込んだほうがいいのか、また、別の歴史の展示に盛り込んだほうがいいのかというような、議論がおそらくあると思います。そうなる、ではこの施設で絶対譲れない部分は何かと考えたときに、先ほど福浜副会長もおっしゃられたように、舞殿がメインになるのではないかと思います。舞殿と展示が一体化することによって、より神楽についての理解が進むということであれば一体的な展示っていうか施設が望ましいということだと思います。それと、施設はやはり尖ってないといけないのではないかと思います。要するに個性を出していくっていうことで、複合的な施設というのは、エリア全体を見たときに、賑わいが創出されて、図書館だとか、他の博物館だとかと一体的に、エリアとして整備されていくというのは、本当に望ましいと思いますが、中々予算的に難しいかもしれません。そうすると、この拠点施設で、絶対譲れない部分が何なのかということを、もっときちんと、我々も考えていたほうが良いと思います。予算の中で、現状もっと縮小した方が良いこともあるかもしれません。それと、先ほどからありますように、やはりどうしても展示に目が向いていますが、展示はあくまでも知的な理解という部分になりますので、それは逆に、本を読んで済むことかもしれません。ですから、むしろ重要なのは、交流の場だとか、子どもの教育の場というところで、そのスペースをどういうふうに確保していくかということです。いずれにせよ、もっとメリハリをつけた方が施設のコンセプトが明確になるかと思います。これをどうやって、修正するかは実際大変だと思いますので、今更言うのも恐縮ですが、もっとメリハリをつけてもらった方が良いと思いました。</p>
豊田会長	<p>メリハリというと浅沼委員からもありましたように、調査・研究、収蔵に加えて、皆様舞殿が重要だということであれば舞殿や情報発信でしょうか。そういったところが、こちらの施設のメインになるのかなということかと思います。</p>
事務局	<p>いろいろご意見をいただきましてありがとうございます。今回の基本構想案については、先ほど言われた通り、最初のグループワークから積み上げてきたものです。ということで、なかなかここでボリュームを増やすと</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

福浜副会長	<p>なると、もっと議論を重ねるのかということもありますので、その辺もご了承いただきながら、今日の意見を踏まえて事務局の方でまた整理させていただきたいと思います。</p>
	<p>仲野委員も言われましたが、ボリュームを増やすのではなく、もう少しメリハリをつけることが大事だと思います。市民の方々に読んでいただこうと思うと、前半部分だけで泣きたくないような内容となっていると思いますので、ここはコンパクトにして良いと思います。また、具体的なところが展示の部分しかないことが、皆さんおかしいと感じていると思いますので、私は舞殿についての議論が一番熱かったと思いますし、浜田の全社中が、自分たちのお宮とは違う舞える場所を持てるというのは非常に大事なことであると思います。それに付随して、よりわかる展示品があったり、体験があったりという方が分かりやすいのではないかと思います、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>メリハリという意味では、先ほどありましたように、基本構想の位置づけのところや、展示の部分をもっとコンパクトにし、一方で、舞殿のところは、今までいただいたご意見の具体的なところをもっと盛り込むというようなイメージでしょうか。</p>
仲野委員	<p>今更これをどうするという話ではなくて、例えば私は25ページのイラストで子どもたちが太鼓を叩いたり、お面をかぶったりしているのはすごく良いと思っていて、この部分は本当に教育的な部分ですごく効果があるというイメージがわくわけですね。逆に24ページのイラストにあるような展示は結構お金がかかるというイメージを持たれるのかなと思います。ですから、そういった作り込んだような展示がメインというようなイメージになってしまうので、展示というのはあくまでも、メインではないというのは、ここでの議論の中でもしてきたと思います。もっと言えば、29ページのイラストが実はメインではないかと思っていて、色々な人たちが神楽を見ているというのが、わくわくするというイメージだと思います。ですから、そういったところのイラストを大きくするとか、逆に先ほどありましたように、展示の内容も具体的すぎると思います、要するに、神楽の歴史とか、演目がわかるような、展示をしますという2、3行程度で実はよいのではないかと思います。実際の実施計画などとなるともっと具体的な内容が必要だと思いますが、先ほど言ったようにもっとメリハリをつけて、例えば教育の部分だったら、子どもたちがここで何かをしているようなイメージで、構成した方が分かりやすいと思います。一般的な機能や施設に必要なものというのはどこも同じですので、そこをあまり詳しく説明する必要はないと思います。先ほど言いましたようにメリハリというか精査をしていけば、</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

<p>豊田会長</p>	<p>すっきりしたものになるかと思いますので、ここに新たに何かを加えてということではなく、文章を削ったり、少し足したりというくらいで良いかと思います。</p> <p>内容を変えずに、つけたいところにボリュームつけて、削るところは削って、市民の方にわかりやすくイメージを伝えてもらいたいということでした。</p>
<p>梅津委員</p>	<p>実は、私は違和感があります。表題が石見神楽保存・伝承拠点基本構想ですがどこにも施設とは書いていません。始めは施設ではないというような話もあり、会議が始まったと思いますが、拠点ということになると何かものがないと駄目ではないかという話になっていって、さらにグループワークをすると話が膨らんでいき、今更の話ですが、施設を考えればきりがないです。結局、設計コンセプトを作るようなことになってしまい、機能をどうやって維持していくかということとは少し違うと思って、私は、これは出る幕じゃないなと思って、後半は少し押し黙っているとこもありました。会議の始まりから言うと、少し脱線し始めていると思います。内容がどうこうではありません。これが網羅できる機能があれば、素晴らしいものができるのではないかと思います。そうなったときに、今の展示の仕方にしてもそうですし、舞殿のあり方もそうですし、それから情報発信の機能をどこで持たせるかっていうのもあると思いますが、そこが、こうした方が良いというような提言なのか、作るならこれを実行してくださいというところまでもっていくのかということもあります。この希望を出すのは、別に悪いことではないと思いますが、細かいところまで盛り込んで、そんなこと言われてもで終わったら意味がないと思います。ある程度、実施側にも考える余地を残せるような提案とすべきなのか、漠然としていますが、私の気持ちとしてはそういったところです。</p>
<p>豊田会長</p>	<p>確かに施設ありきで始まったわけではなく、拠点があるとすればどのような機能が必要なのかという意見から始まっておりませんが、途中で具体的に考えるときには施設といいますか、具体的なものを想定してやっていかなければならないのではないかという意見でこのような形になっているかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>これは、あくまで基本構想案ということで、皆さんの意見を取りまとめで、石見神楽の保存伝承拠点とすれば、どういったものが必要なのかという、そういったあり方であったり機能だったり皆さんのご意見を踏まえて形にしたものというところでありますので、委員の皆さんの意見を尊重して、作られる基本構想案でありますので、繰り返しになりますけど最終的には今回、基本構想案の策定をお願いしているエブリプランの方から、</p>

第7回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

豊田会長	<p>皆さんの意見を取りまとめて、エブリプランとして皆さん意見を踏まえて、案としてはこれですっていうのを、市の方に業務の成果品としてだしていただく、それを踏まえて市がどうするかを検討するものになります。</p> <p>こうしなければならないというよりも我々がこうあったらいいなという希望を出したものを基にお考えいただくというようなものです。ですから、幅広に希望は募って載せておいた方が良いというようなところなのかなと思っています。</p>
福浜副会長	<p>結構大事なのが、9 ページの現状と課題のところだと思います。「奉納神楽、夜明け舞の減少によって」という、いわゆる各地域で舞える状況がなくなっているということです。これを、なんとかきちんとした形で伝承していく必要があるというところがあり、これは結構大きなポイントだと思います。また、特に神楽用具の保存等については、先ほどありましたように、文化財指定とか意匠の問題を網羅したものが、この拠点の中でそういう施設的にこのようなものが需要という整理の仕方で良いのではないかと思います。</p>